

おおさか  
KEY  
ワード  
第52回



大阪大学総合学術博物館  
(豊中市待兼山町)の  
スタンプラリーのスタンプは  
「マチカネワニ」。大阪大学の  
公式マスコットキャラクターの  
「ワニ博士」も待っています。

広がるユニバーシティ・ミュージアムの世界  
行ってみると個性それぞれ

大阪の大学博物館が動き出している。平成8年の  
学術審議会の答申「ユニバーシティ・ミュージアムの設  
置について」により、大学博物館は、学内で所蔵する  
貴重資料を展示保管する目的で設立されるようになった。  
管理が曖昧で廃棄されていた貴重な学術資料を  
管理し、後世に伝えることが設立目的とされる。資料さ  
え保存しておけば半世紀前の研究資料でも、DNA鑑  
定のように最新の科学技術によって再検証することが  
できるわけである。また、大学を象牙の塔とせず、研究  
成果を社会に発信したり、市民と交流して地域におけ  
る文化拠点となることも望まれている。

全国には有名な大学博物館がある。北海道大学  
総合博物館は観光ルートの一つであるし、東京上野  
の東京藝術大学大学美術館は、高橋由一《鮭》や狩  
野芳崖の《悲母観音》など重文国宝の宝庫である。  
大学博物館は実に多種多彩で、国公立や私学では  
運営の考え方の違いがあるし、総合大学や商大、工大、  
芸大など専門性の違いで企画や展示内容も異なる。

大阪でも、ようやく大学博物館の存在が社会的に知  
られるようになり、大学博物館相互の連携も動き出し  
た。そのひとつが、平成25年度に大阪を中心とする大  
学博物館が結成した「かんさい・大学ミュージアムネッ  
トワーク」(連携実行委員会事務局・関西大学博物  
館)である。市民に存在を知ってもらおうと、この11月は  
加盟館でスタンプラリーも行っている。ちなみに私の  
阪大博物館のスタンプは、発掘50周年の今年、国の  
登録記念物になったマチカネワニのデザインである。  
11月23日には、阪大中之島センターで市民を対象と  
した大学博物館に関するシンポジウムも開催する。  
いやあ、面白い議論になるだろう。

さらに今年には大阪市内に新しい大学博物館が開

館した。大阪工業大学、摂南大学など3大学と2高校・  
中学を設置する常翔学園の「常翔歴史館」である。旭  
区大宮に開設され、工業大学誕生を伝える校内新聞  
や戦前の学舎の復元模型も展示されている。

全国水準から見て大阪は、美術館・博物館に恵ま  
れていない。2008年の文科省の調査から美術館・博  
物館の館数の比較がインターネットにあげられている。  
大阪府の美術館数は16館。人口10万人あたりの館数  
では0.19館となり、47都道府県中で最下位から二番目  
の46位であった。確かに大阪では萬野美術館やサン  
トリーミュージアム〔天保山〕など閉館・休館がつづい  
た。人口が多い都市圏だからの結果と思いきや、人口  
115万人の山形県にも美術館は、大阪府と同数の16  
館ある。さらに博物館では、大阪府下の館数は83で、  
人口10万人あたり0.96館。全国最下位の47位である。

大阪市立美術館名誉館長で、『超・美術館革命—  
みのゆたか金沢21世紀美術館の挑戦』の著者・蓑豊兵庫県立美  
術館館長によると、幼少期に親に美術館・博物館に  
連れていってもらった子どもは、親になると同じように  
展覧会に子どもを連れて行くことが、海外の研究で  
分かっているという。それが教育的に大きな意味を  
もつのである。

大学博物館の存在を、学校のコマーシャルとしてし  
か見ない傾向もあるが、大学人よ、情けないことをた  
まうな。深く教育のあり方にかかわっているのだ。母校  
や地域の歴史を知り、それを誇りに向学心を燃やすこ  
ともあるだろう。博物館施設に恵まれない大阪にあっ  
て、大学博物館は、ますます地域の文化的中核として  
の活躍が求められるのである。従いましてみなさま、  
大学博物館の活動を応援してくださいね。